

岩手研本報

No. 1 9 7
編集・発行
岩手県公立小中学校
事務職員研究協議会
総務部
平成28年10月31日

第48回全国公立小中学校事務研究大会山形大会

平成28年8月3日(水)~5日(金) 会場：山形国際交流プラザ他

岩手県からは総勢116名が参加し、暑い山形で開催された今年の全国大会。第3分科会での発表に向けて取り組みを重ねてきた特別研究委員会の皆様、本当にお疲れさまでした。当日はお二人の助言者も含めておそろいのピンクの希望郷いわてわんこポロシャツでチーム力をアップし、素晴らしい分科会発表となりました。

全国事務研山形大会分科会発表を終えて

洋野町立大野小学校 主任主査 下村 隆

第48回全国公立小中学校事務研究大会では、岩手支部が第3分科会を担当することになり、特別研究委員会を組織して、最善の分科会となるように取組を進めてきました。

分科会のコンセプトは「参会者が元気になる分科会」「明日からやることに気づける分科会」を目指すこととし、発表内容は「子どもたちのために学校事務職員として何ができるか」という想いが根底にある岩手県の学校事務の実践を紹介しながら、山形大会の大会テーマでもある「自律的な学校経営とガバナンス改革」という視点で、学校事務と学校経営を考えるものとなりました。

発表に向けて特別委員会で常に議論したのが「岩手らしさ」をどう表現するかという点でした。私たち岩手の学校事務職員の目指しているもの、自分たちの研究実践の目的と意義、いわてのグランドデザイン等、様々な要素から「笑顔が広がる いい学校を目指して-岩手の学校事務 て・ん・で・ん・こ-」という言葉とレポートで表現させてもらいました。

また、分科会運営についても「実際の行動レベルで、明日から実行できること」を考える機会とするために、県事務研の研究部・研修部とタイアップして試行錯誤しながら、参会者の立場に立った運営となるように気を配りました。

今回の分科会発表・運営では、「想いを伝えること」「考えを引き出すこと」の難しさを実感させられましたが、分科会の最後には「明日も元気にガンバルぞ〜!」と大きな声で決意を新たにして終えることができたので、目指していた分科会に近いものになったと感じています。

岩手県内の事務職員の皆様、山形県の実行委員会の方々、助言者の先生方、そして参会者の皆様のご協力に心より感謝しています。ありがとうございました。



「明日も元気にガンバルぞ〜！」



全国大会に参加して・・・

～今回初めて全国大会に参加した方々から～



第3分科会（岩手支部）「笑顔広がる いい学校を目指して —岩手の学校事務 て・ん・で・ん・こー」に参加させていただきました。この「てんでんこ」には方法が違って目指すものはひとつ、という想いが込められています。

プレゼンテーションでは岩手県の取り組みが紹介され、いわてのグランドデザインに即した「目指す学校事務職員の姿」に近づくために各地域でどのような方策を講じているのか、という実践の報告がありました。

グループワークでは「地域連携」をテーマに、京都、沖縄他各地の学校事務の様子を知ることができました。しかし、メンバーのうち事務職員経験10年未満の方が多く、どのように地域と関わっていけば良いのか、という基本的な部分からの戸惑いが多かったように思います。関わる機会が少ないという状況もあり、出来ることから始めていくことが大切ではないかと思いました。「明日から実践できること」として、学校に来たボランティアの方々や地域の方々へのあいさつをする、機会があればお話をしてみる、といったことが挙げられました。様々なやり方で、同じひとつのテーマに向かうことができると実感できるグループワークでした。

講評では実践やグループワークでの発表に対して鋭い指摘がありましたが、事務職員側からだけではなく、外部から見た研究内容を知ることができました。事務職員とは違う視点からの講義には考えさせられる部分も多く、賛同するだけではない意見を取り入れていくことも改善には大切だと感じました。

最後には「明日も元気にガンバルぞ〜」で締めくくられ、岩手支部らしさが出ている分科会でした。他都道府県の事務職員の方々と交流する貴重な機会ともなりました。今回学んだことを、実践に活かしていきたいと思っています。

8月3～5日、全事研山形大会に参加させていただきました。初めての全国事務研究大会参加ということで、大会当日を心待ちにしていました。

会場に着いてまず、参加する人の多さに驚かされました。ベテラン事務職員の皆さんにとっては見慣れた光景なのかもしれませんが、全国各地から2,000人を超える大勢の事務職員が集まり、開催県である山形支部の皆さんがおもてなしをするというその光景に少し感動しました。

ICTの整備・活用状況についてや、学習指導要領について、教員の多忙化について、世界と比べた日本の子どもの学力について、など、専門性が高い内容の講演を通して、今の日本の学校教育の現状と将来像が少しわかりました。分科会では二戸、遠野、胆江各支部の発表を聞き同じ岩手県内でも様々な取り組みが行われているのだと知りました。その後のグループワークでは他県の方との意見交換も良い刺激になりました。

全体を通して理解しきれない部分も多々ありましたが、それらも含めて全てが大変興味深いものでした。「これからの日本教育はこれまで以上のスピード感を持って時代とともに変化していくのだ」という言葉はとても印象的でした。変化の波に乗り遅れないようアンテナを高く広く張り、柔軟な姿勢で今後も経験を積んでいきたいと思います。本当に貴重な経験をする事ができた三日間でした。

全事研大会の参加は今回の山形大会が初めてでした。遠いところからは沖縄県からきている方もいて、全事研大会へかける意気込みを感じさせられました。

そんな私の初参加での思い出は二つあります。

一つ目は分科会での出来事です。分科会への参加は東北地方の他に埼玉県が一つだけあったのであえて埼玉県に参加させていただきました。グループで話し合う時間が設けられたときに自己紹介をしたらみなさん岩手県の方でした。

二つ目は他県の方から昼食のお弁当をいただいたことです。一人でコンビニに歩いているところを呼び止められ渡されました。お礼を言いたかったのですがすぐに立ち去ってしまったので言えずじまいです。

色々な出来事があり忘れられない山形大会になりました。



夏季研修講座

平成28年7月28日(木) 会場：プラザおでって

暑い夏季休業中に行われた夏季研修講座。参加者は95名でした。

—全体研修—

「平成28年度の教育行政について」

講師：岩手県教育委員会事務局 教育企画室

企画担当総括 主任主査 本田 牧人 氏

教育委員会制度について、教育施策について、新しい学習指導要領とチーム学校について、資料を使いながら分かりやすく説明していただきました。県の施策を学ぶよい機会となりました。



—選択研修A—

「教育から共育・協育へ

～事務職員は「これ」ができます！

講師：いわてNPOフォーラム21

事務局長 中村 恭香 氏

グループワークをとおして、ビジョンを持つこと、意識することの大切さを実感できました。学校事務職員としてのビジョンを持ち、意識して、積極的に教育に関わっていきたいと感じました。



—選択研修B—

「クロスロードゲーム」

災害時、人は何をどう判断するのか。

講師：岩手県地域防災リーダー 佐藤 志行 氏

千葉 博 氏

災害時、自分がどんな判断をするか、実際に考えてみて、発言することでより考えが深まる研修でした。意見や考え方の多様性を実感できましたし、改めて防災について考える機会となりました。



岩手県公立小中高等学校
事務職員連絡協議会

平成28年8月19日(金)

会場：サンセール盛岡

岩手県公立学校事務長会、岩手県公立高等学校事務職員協会、岩手県立学校事務職員組合、岩手県教職員組合事務職員部と岩手県公立小中学校事務職員研究協議会の五つの団体により、それぞれの団体の活動について情報交流し、連携を深め、事務改善等につなげるために開催されています。

今年度の各団体からの出席者は総勢31名。高等学校関係団体からは、「チーム学校」について、「いわてのグランドデザイン」について、「学校事務の共同実施」について、小中学校関係団体からは、「ジョブローテーション」について、「研究大会等の参加交流」について、それぞれ質疑がなされ、活発に意見交換が行われました。

熊本地震救援募金に
ご協力ありがとうございました

全事研で実施する救済募金に県事務研としても取り組みをしました。県の事業のほか、各支部での事業の際にも取り組んでいただきました。

募金総額は96,987円でした。

お預かりした募金は、全事研を通じて熊本支部へ届けられました。

編集後記…先般の台風10号は、沿岸地域をはじめ各地に甚大な被害をもたらしました。被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。本来9月に発行する予定の岩事研広報197号ですが、当地区(岩泉町)の被害も大きく、発行が大幅に遅れてしまいました。発行にあたり寄稿いただきました方々、会員の皆様にお詫び申し上げます。次号発行に向けて只今準備作業中です。今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。